

赤松守雄氏を偲んで

嵯峨山 積

長年、北海道開拓記念館（現 北海道博物館）に勤務され、北海道の地質と貝化石の研究を行ってきた赤松守雄氏は、昨年11月頃に肺炎にかかれ、本年（2022年）2月2日に逝去されました。

私の手元にある赤松さん著書の「北海道の自然史」（2003年、北方新書、282p.）には以下の略歴と著書が書かれています。

略歴 1943年 札幌市生まれ

1970年 北海道大学大学院理学研究科地質学鉱物学専攻修士課程修了

1970年 北海道開拓記念館開設準備事務所

現在 北海道開拓記念館 特別学芸員（理学博士）

著書 「概説 地球科学」共著（1966年 朝倉書店）

「地形と地質」共著（1996年 札幌市教育委員会）

「新版地学辞典」共著（1996年 平凡社）

「クビナガリュウウからステラーカイギュウーかせきにみる世界の海ー」共著（1997年 北海道開拓記念館）

「北の大地」共著（1999年 北海道開拓記念館）

「恐竜とアンモナイトの世界」共著（2000年 北海道開拓記念館）

赤松さんとの出会いは、私が1974年に北海道立地下資源調査所（現 北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所）に就職した時です。当時は、開拓記念館の北川芳男学芸部長を中心に野幌丘陵の地質研究が精力的に進められていました。その成果は下位より裏の沢層、下野幌層、音江別川層、竹山礫層、もみじ台層、小野幌層という層序の確立に至っています。赤松さんは、これらの知見を基に石狩平野の地下地質の解明へと進めていき、1984年には松下勝秀氏との共著で「石狩平野西部地下における更新統の貝化石群と層序区分」（第四紀研究、第23巻、183-195）を公表しています。

赤松さんからは、第四紀地質について多くのことを教えていただきました。その一つは珪藻化石についてです。私の就職時は野尻湖（長野県）の発掘調査が盛んに行われていた頃で、そこでは珪藻分析が調査手段として大きな力を発揮していました。赤松さんは北海道でも誰か珪藻分析をと考えていた様で、ある時（1980年頃?）、「珪藻分析をやってみないか」と私に言われました。何の用事で開拓記念館を訪れたかはすっかり忘れてしまいましたが、食堂で赤松さんとコーヒーを飲みながらの話は鮮明に覚えています。そんな一言から、やってみようという気になり、1982年



赤松さん（1980年4月撮影）

10月に大阪大学教養部に行き、小泉 格先生から珪藻分析の手ほどきを受けました。

現在の石狩平野の地下地質研究について、赤松さんは何と云われるでしょう。「まだまだ甘い」と叱咤激励されるかもしれません。あるいは「分かった」と言われるかもしれません。教えていただきたいことは沢山ありますが、かなわない願いとなりました。

謹呈していただいた「北海道の自然史」に添えられた手紙には「30余年の研究成果の一部を本として刊行」、「今後はマイペースで行きたい」と書かれ、「次の北海道の諸問題は貴兄達が中心となって」と追記されています。北海道の第四紀地質の研究を更に発展させ、次の世代にバトンタッチすることを赤松さんに誓い、ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

ここに総合地質第6巻をお届けします。今年度も総説や論説など10件の投稿があり、バラエティに富んだ巻となりました。査読者・校閲者による建設的かつ丁寧な査読・校閲は、それぞれの論文を改善する上で大いに役立ちました。査読・校閲者は、大藤 茂, 能條 歩, 川村信人, 君波和雄, 岡村 聡, 加藤孝幸, 岡 孝雄, 宮下純夫(敬称略)の諸氏です。ここに記して深く感謝申し上げます。今号は分厚くなりましたので、書評に関しては掲載しませんでした。次号からは書評や本の紹介などもぜひ掲載したいと考えています。また、君波委員長を引き継いで、3年間編集・割り付け作業をおこなってききましたが、新しい編集委員を迎えて、次の世代へ引き継ぐ準備もおこなっていきたいと願っています。来年度の第7巻への投稿受付は5月～6月頃を予定しています。次号も多彩な原稿が多く集まることを期待しています。

新型コロナ感染は思いの外長期戦となっていますが、この3年近くの多くの制限が解除され、多くの社会的活動も復活しつつあります。地球温暖化による熱波や干ばつ、洪水、一方、ロシアのウクライナ侵略や統一教会問題など、世界も日本も揺れ動いています。HRCGの活動は変わりなく発展することを願っています。

編集委員長 宮下純夫

発行者 NPO 法人 北海道総合地質学研究センター (HRCG)
札幌市南区真駒内上町5丁目5番6号
URL: <http://www.hrcg.jp/>
E-mail: office@hrcg.jp, 電話 080-5830-2016
印刷 (株)三誠社 札幌市中央区北8条西18丁目2-10